

別紙3 被害防止計画目標評価報告書

被害防止計画の達成状況(令和3年度)

事業実施主体名 (協議会名)	構成市町村名	対象地域	実施年度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開始	利用率・稼働率	事業効果	被害防止計画の目標と実績										事業実施主体の詳細	第三者の意見									
											作成年度	基準年度	目標年度	被害金額(万円)				被害面積(ha)(t)													
														対象鳥獣	基準値	目標値	実績値	達成率	基準値	目標値			実績値	達成率							
大崎市有害鳥獣被害対策協議会	大崎市	大崎市内	R1	ハンフトガラス・ハシボソガラス・カルガモ	予察	539羽					実施隊員やICT捕獲わな等の拡充により、令和3年度に643頭のイノシシを捕獲した。令和4年度は、豚熱の影響で捕獲数は減少した。 令和2年から4年度にかけて55,480mの侵入防止策を設置し、農作物被害を100%抑えることができた。	2019 (R1)	2017 (H29)	2021 (R3)	ニホンザル	0.15	0.12	0	500	0.001	0.001	0	-	下記改善計画を基に取組みを行い、全体的な被害面積と被害金額の目標は達成できている。 ツキノワグマ 侵入防止柵設置やソーラー電気柵で農作物被害を軽減できた。ツキノワグマの被害については、年により波がある。 イノシシ・ニホンジカ 実施隊員の拡充を図り、ICT捕獲システム導入を行い、捕獲数の増加につながった。侵入防止柵設置やソーラー電気柵で農作物被害を軽減できた。被害が市内全域に広がりにつつあるため、限られた予算での被害軽減が難しくなっている。 カワウ 定期的な予察により被害軽減できているが、銃免許所持者が少なくなっている。 タヌキ・ハウビシン 年により被害状況に波があり、被害者へのわなの貸し出しを行っているが、対応が後手になっている。 侵入防止柵 令和2年度から4年度までに55,480mの侵入防止柵設置を行い、農作物被害を抑えることができたが、被害地域が柵を設置していない地域に移っている。 改善計画と実績 捕獲対策 ①狩猟免許取得に係る助成事業等を実施し、鳥獣被害対策実施隊員の増員を図り捕獲圧を強化。実施隊員数 H29年度 87人 R04年度 165人 ②ICT捕獲システム導入など新たな捕獲体制の確立を図る。 ICT捕獲わな5基購入 侵入防止対策 ①金網柵等の設置による侵入防止対策の強化。 R02年度 13,600m R03年度 33,380m R04年度 8,500m ②農業者への電気柵購入助成による侵入防止対策の強化 R01年度 65件 R02年度 124件 R03年度 119件 R04年度 121件 ③地域ぐるみ対策 研修会開催等による生態の把握、効果的な防除対	イノシシはわなでの捕獲に失敗すると、学習してわなにかからなくなるので、確実に捕獲できるように実施隊員の技術向上が必要。 ツキノワグマについては、個体数増加により、山を下りて人里付近に出没し農作物被害や人的被害となっているので、県による計画的な捕獲を行い個体数の調整をやっていたきたい。(元自然保護員 太田耕作)						
					有害捕獲	29頭							実施隊員向けの捕獲技術向上研修を行い、イノシシの効率的な捕獲の仕方を学び捕獲頭数の向上につながった。また、一般市民も含めて生活環境被害対策の研修も行き、被害軽減に寄与した。				ツキノワグマ	150	120	12.9	457	1.3	1.04			0.31	380.769				
					緊急捕獲	278頭											イノシシ	288.5	230.8	396.4	-187	15.6	12.48			5.94	309.615				
					ICT捕獲わな1基導入	ネットワークカメラ、クラウド型遠隔操作、侵入センサー、ソーラー等システム、監視	大崎市有害鳥獣被害対策協議会	R2.3	100%	ジビエの認知拡大と販路確保のため、ほかの産地のイノシシ肉を使い、市内飲食店向けの料理講習会や地域住民への試食会を行った。							ニホンジカ	-	0.1	0	-	-	0.01			0	-				
					R2	ハンフトガラス・ハシボソガラス・カルガモ	予察	486羽											タヌキ	-	0.1	58.9	-			-	0.01	0.1	-		
							有害捕獲	37頭											ハウビシン	7.4	5.9	73.8	-4426.7			0.3	0.24	0.25	83.3333		
			緊急捕獲	690頭													ハンフトガラス・ハシボソガラス・カルガモ・スズメ	31.4	25.1	0	498.413	1.58	1.26			0	493.75				
			ICT捕獲わな4基導入	ネットワークカメラ、クラウド型遠隔操作、侵入センサー、ソーラー等システム、監視			大崎市有害鳥獣被害対策協議会	R3.3	100%									カワウ	183.6	146.9	0	500.272	1.08			0.864	0	500			
			侵入防止柵設置	ワイヤーメッシュ柵 13,600m			大崎市有害鳥獣被害対策協議会	R3.3	100%																						
			ICT捕獲システム導入	ネットワークカメラ、クラウド型遠隔操作、侵入センサー、ソーラー等システム、監視			大崎市有害鳥獣被害対策協議会	R4.2	100%																						
			R3	タヌキ	箱わな購入	箱わな14基																									
					予察	368羽																									
					有害捕獲	49頭																									
					緊急捕獲	643頭																									
					箱わな購入	箱わな7基 くりわな6基																									
					ICT捕獲システム導入	アニマルセンサー、ほかハト親機、ほかハト子機	大崎市有害鳥獣被害対策協議会	R4.3	100%																						
					研究会	ジビエ活用研修会	大崎市有害鳥獣被害対策協議会	R4.3	100%																						
					侵入防止柵設置(R2当初)	ワイヤーメッシュ柵 10,170m	大崎市有害鳥獣被害対策協議会	R4.3	100%																						
					侵入防止柵設置(R2修正)	ワイヤーメッシュ柵 23,210m	大崎市有害鳥獣被害対策協議会	R4.3	100%																						
					ICT捕獲システム導入	ネットワークカメラ、クラウド型遠隔操作、侵入センサー、ソーラー等システム、監視	大崎市有害鳥獣被害対策協議会	R4.3	100%																						
R4	ハンフトガラス・ハシボソガラス・カルガモ	予察	395羽																												
		有害捕獲	26頭																												
		緊急捕獲	373頭																												
		販売拡大支援	ジビエ関連視察・研修																												
		侵入防止柵設置(R3当初)	ワイヤーメッシュ柵 8,500m	大崎市有害鳥獣被害対策協議会	R5.2	100%																									
		ICT捕獲システム導入	ネットワークカメラ、クラウド型遠隔操作、侵入センサー、ソーラー等システム、監視	大崎市有害鳥獣被害対策協議会	R5.2	100%																									
合計												661.05	529.02	542	90.1689	19.861	15.905	6.6	335.212												

注1:被害金額及び被害面積の目標欄については、対象鳥獣及び目標値を記載し、これに合わせて他の欄も記載する。  
 注2:事業効果は記載例を参考とし、獣種ごとに事業実施前と事業実施後の定量的な比較ができるよう時間軸を明確に記載の上、その効果を詳細に記載すること。整備事業を行った場合、捕獲効率の向上にどのように寄与したかも必ず記載すること。  
 注3:「事業実施主体の評価」の欄には、その効果に対する考察や経営状況も詳細に記載すること。  
 注4:鳥獣被害防止施設の整備を行った場合、侵入防止柵設置後のほ場ごとの鳥獣被害の状況、侵入防止柵の種類・設置距離、事業費、国費、被害金額、被害面積、被害量、被害が生じた場合の要因と対応策、設置に係る指導内容、維持管理方法、維持管理状況を様式に具体的に記載し、添付すること。

